

新潟青陵学会第6回学術集会のご案内

聴くこと・語ること

—今、あらためて問い直す—

会 期 : 2013年11月10日(日)

会 場 : 新潟青陵大学

学術集会長 : 荒木 重嗣

プログラム

- 受付 10:15 - 11:00 (6号館 玄関)
- 挨拶 11:00 - 11:15 (5号館 5301講義室)

学術集会長：荒木 重嗣（新潟青陵大学 看護福祉心理学部 福祉心理学科教授）

学会長：諫山 正（新潟青陵大学学長）

メイン・テーマ

「聴くこと・語ること ー今、あらためて問い直すー」

本学術集会のテーマが7名の教員たちの語りあいのなかで、「聴くこと・語ること ー今、あらためて問い直すー」と自然に決まりました。ちょうどその頃「原発で死んでいない論」が平然と語られ、被災者や被災者でない方をも深く傷つけ、希望を萎えさせてしまっていることに、啞然としてしまいました。生きることの根っことなる家族や故郷や健康を失って、深くうずくまっている方々の、その言葉さえも失ってしまわんばかりのふるまいに対して、私たちには何ができるのでしょうか。もう一度あらためて聴くこと・語ることについて、本集会で問い直してみたいと願っています。

- I. 基調講演 11:20 - 12:20 (5号館 5301講義室)

「人はなぜ悩む、楽になるとは
～聴くこと、語ることの本当の意味～」

講師：佐藤 泰子 先生（京都大学非常勤講師）

1960年生まれ、香川県出身。京都大学大学院修了。京都大学博士（人間・環境学）。大学院在学中に出産し、子育てを経験する。博士課程修了後、主に医療系学生への教育と講演活動をしている。講演では主に「聴くこと、話すこと」をテーマとし、人間の苦しみと言語の関係を理解することによって、誰でも素晴らしい聴き手になれると説く。近著に「患者のカーがんに向き合う、生に向き合う」（晃洋書房）、「苦しみと緩和の臨床人間学ー聴くこと、語ることの本当の意味ー」（晃洋書房）がある。

- 総会 12:20 - 12:45 (5号館 5301講義室)

II. ワークショップ 13:30 - 15:00

WS.1 緩和ケアの現場で語りを聴く (6号館 6201 講義室)

話題提供者: 小池 宣子氏 (南部郷厚生病院: 緩和ケア認定看護師)

コーディネーター: 佐々木 祐子 (新潟青陵大学看護福祉心理学部 看護学科准教授)

WS.2 子育て中、本音を語り自分らしさを知るための母親支援 (6号館 6202 講義室)

話題提供者: 松山 由美子氏 (はっぴいmama はうす: 保健師)

コーディネーター: 坪川トモ子 (新潟青陵大学看護福祉心理学部 看護学科准教授)

WS.3 精神障害者とのかかわり - 思いを聴く - (6号館 6205 講義室)

話題提供者: 青木 美代子氏

(社会福祉法人上越つくしの里医療福祉協会 つくし工房: 精神保健福祉士)

丸山 ひろみ氏

(上越市福祉交流プラザ障害者相談支援センター: 精神保健福祉士)

コーディネーター: 花澤 佳代 (新潟青陵大学看護福祉心理学部 福祉心理学科准教授)

WS.4 認知症利用者と支援者の会話分析 (6号館 6301 講義室)

話題提供者: 松尾 美貴氏 (社会福祉法人かえつ福祉会: 介護福祉士)

コーディネーター: 海老田 大五朗 (新潟青陵大学看護福祉心理学部 福祉心理学科助教)

III. ポスターセッション 14:30 - 16:00 (6号館 3階ゼミナール室)

看護・福祉・心理領域に関する基礎研究・調査研究の示説発表となります。座長による進行は行いません。発表者は、上記の時間内はポスター前に待機し、質問等に対応して下さい。

参加申込

1. 事前申し込みは不要です。当日、直接受付においで下さい。

2. 参加費

学 会 員	非学会員	学生・院生
無料	500円	無料

・ 非学会員の方は当日受付にて参加費をお支払い下さい。

ポスターセッション発表の申込み・抄録原稿作成・発表

1. 発表申し込み

1) 方法

・ 発表をご希望の方は、大学ホームページからポスターセッション発表申込書をダウンロードして必要事項を記入のうえ、Eメールでお送り下さい。

E-mail: 2013conf@n-seiryo.ac.jp

2) 締切

2013年8月30日(金) 《必着》

2. 抄録原稿の作成・提出

- ・本文の記載は、原則としてⅠ目的、Ⅱ方法、Ⅲ結果、Ⅳ考察、Ⅴ結論、引用文献とします。なお、個人情報保護等の倫理的配慮を必ず記載して下さい。
- ・文字の大きさや書体等の組み方は抄録作成見本をご参照下さい。
- ・抄録原稿の提出期限は**2013年9月13日（金）《必着》**です。抄録原稿書式・抄録原稿作成チェックリストを大学ホームページからダウンロードしてご使用下さい。抄録原稿はWord(ver. 2000以降)で作成の上、ワードファイルおよびPDFファイルで保存し、Eメールでお送り下さい。

3. 発表者の資格・選考

1) 資格

- ・共同研究の場合は、会員が必ず1名以上含まれることを要件とします。
- ・単独での発表を希望される非会員の方は、事前にご入会いただく必要があります。大学ホームページから入会申込書をダウンロードして必要事項をご記入のうえ、Eメールでお送り下さい。なお、1週間以内に受領メールが届かない場合はご連絡下さい。

2) 選考

- ・ポスターセッション発表申込の受理は前記の申込書類の受領をもって行い、採否は10月中旬までに郵送にてご連絡いたします。
- ・採択された抄録原稿は、新潟青陵学会誌に掲載されます。

4. 個人情報の利用

- ・ポスターセッション発表申込書に記入された氏名・所属は、新潟青陵学会誌に掲載されます。ご了承下さい。

5. 発表

- ・発表者は学術集会当日10:15～10:30の間に受付までお越し下さい。
- ・ポスター掲示スペースは1演題210(縦)×90(横)cmです。ポスターは当日持参し、10:50までに掲示を完了して下さい。掲示に必要な物品はこちらで準備いたします。
- ・発表方法は、供覧・示説です。14:30～16:00にはポスター前に待機して下さい。

その他

1. 大学生協売店が10:00～16:00まで営業します。昼食等を購入される方はご利用下さい。
2. 会場には駐車場の用意がございませんので、公共交通機関をご利用下さい。

お問い合わせ先

新潟青陵学会第6回学術集会事務局

〒951-8121 新潟市中央区水道町1丁目5939番地

TEL: 025-266-0127 (代表)

FAX: 025-267-0053

E-mail: 2013conf@n-seiryu.ac.jp

ホームページ: <http://www.n-seiryu.ac.jp/gakkai/>

受付時間: 8:30～17:00 (土日祝日・休業日は除く)

会場案内



交通アクセス

■バスをご利用の方

新潟駅万代口バスターミナル11番乗り場から

「新潟青陵大学・水族館前行き」 バスで約20分、新潟青陵大学前下車

または

「浜浦町先回り（西循環）」 「浜浦町経由西部営業所行き」 「浜浦町経由信濃町行き」

バスで約20分、松波町1丁目下車、徒歩4分

■JRをご利用の方

JR 越後線 白山駅下車、徒歩15分